

ASTM International 主催 / 日本規格協会 後援

(ASTM: American Society for Testing and Materials)

「標準化と世界市場」コンファレンス開催

当社須賀茂雄社長パネラーとして参加

米国の代表的な標準化団体のひとつである ASTM International による「標準化と世界市場」コンファレンスが東京で開催され、当社須賀茂雄社長がパネラーとして参加し、国際標準化の取り組みについて発表しました。

・開催日：平成22年4月12日(月) 15:00～17:00 ・場所：マンダリンオリエンタル東京(日本橋)グランドボールルーム



須賀 茂雄



James A. Thomas (ASTM International会長)



パネルディスカッション風景

【発表テーマ】

	司会：(財)日本規格協会 理事長	田中 正躬
1. 開会の挨拶	ASTM International 会長	James A. Thomas
2. スガ試験機と国際規格	スガ試験機(株) 代表取締役社長	須賀 茂雄
3. 国際規格と競争力:アメリカ政府の政策と実施	米国商務省 国務副次官補	Mary H Saunders
4. ドイツ産業界における国際標準化の重要性	DIN(ドイツ規格協会) 理事	Torsten Bahke
5. 2010年からのISO	ISO副会長(政策担当)日本規格協会 専務理事	武田 貞生
6. 世界につながるASTM International	ASTM International 会長	James A. Thomas

(敬称略)

日本規格協会 田中正躬理事長からの要請で、会社設立以来、国際標準規格の審議に携わってきた経緯と取り組みについて、以下の発表を行いました。

[発表内容]

- 1.スガ試験機の概要
- 2.スガ試験機の国際規格参加の歴史
1958年ISO/TC38会議参加以来、ASTM、AATCC、CIE、IEC等の会議参加。
- 3.規格に対するスガ試験機の見解
- 4.スガウェザリング技術振興財団
表彰・助成・講演事業紹介



左から、田中理事長、須賀、Mary H Saunders氏、Torsten Bahke氏

編集部



財団法人 日本規格協会
田中 正躬 理事長
(元ISO会長)

須賀社長は、国際化時代に相応しい明確な事業戦略の考え方を持たれた方です。世界の多くの標準機関の技術標準の最前線を常に取り入れ、商品設計を考える一方、それらの機関での標準づくりに積極的に働きかけ、計測機器分野で活発な事業展開をされています。このような努力により、機器の購入者がスガ試験機の計測機器を利用することによって、信頼される測定結果を世界に向け発信することが可能になっています。

今回、ASTMと日本規格協会が共催したパネル討論会では、須賀社長をはじめ、米国における有数の標準化機関であるASTMの会長であるトマス氏、ヨーロッパの最大の標準化機関であるDIN（独）の理事でISOの副会長を務めたバーケ氏、米国商務省の国務副次官補で標準の専門家のサンダース氏、日本規格協会の専務理事で現在ISO副会長の武田氏の諸氏がパネラーとなり、元ISO会長を務めた私が全体の司会を行いました。各人のコメントや発表では、世界の経済的な取引の基本ルールでありますWTOの協定を基に、ややもすると自分が背負う或いは係わりの深い機関・組織が発行した標準の世界市場における優位性を強調しがちでしたが、須賀社長の論点・指摘は世界市場で役に立つ標準を機関・組織に拘ることなく公平に選択利用して、企業の事業展開を図ろうとする姿勢が際立っていました。世界市場での標準の役割とは或いは国際標準とは何かを考えるうえで貴重な指摘であったといえます。

(田中正躬 理事長 記)